

【第 1 号議案】令和 6 年度 事業報告(案)

事業概要

令和 6 年度は、北杜市内において森林・木質バイオマス・熱利用に関する事業を継続して実施しました。

主な取組は以下のとおりです。

1. 林野庁「地域内エコシステム」補助事業
2. 公共温泉施設への木質バイオマスエネルギー導入準備
3. 慶應義塾大学大学院 SDM との連携による熱需要調査・ドローン林業の実施に向けた調整

また、内閣府の地方創生人材支援制度により、デジタル専門人材の派遣先が 3 自治体に拡大し、浦田様のご尽力を賜りました。

なお、関係者の多忙により、一部事業の実施には至りませんでした。

事業報告詳細

1. 林野庁「地域内エコシステム」モデル構築事業(技術開発・実証事業)

- 事業名: 皆伐再造林と連動した枝条残材チップ製造・供給システム開発(フェーズ 2)
- 事業目的: 地域のバイオマス燃料活用を進め、持続可能な森林経営の実現を目指す
- 事業費: 補助額定額 1,400 万円(税抜)
- 実施内容:
 - 森林資源解析(レーザードローン測量と材積比較)
 - 枝条集積手法の最適化(造材・乾燥試験)
 - 集材オペレーションの効率化(重機運用改善)
 - チップ搬出効率向上(車載型チップパー活用)
 - 燃料品質向上(微細チップ除去機構開発)
 - 製造原価試算

2. 林野庁「地域内エコシステム」展開支援事業(実施計画策定支援事業)

- 事業内容: 地域の木質バイオマス熱供給設備設計及び ESCO 事業会社設立に向けた協議
- 実施内容: 公共温泉施設へのモデル導入計画作成、農業ハウス・ホテルの調査など

3. パノラマの湯への木質バイオマスボイラー導入準備

- 令和 8 年度の稼働を目指すも、設計・調整の遅れにより 1 年間延期
- 令和 9 年度の熱供給事業開始に向け、月 1 回以上の市役所との協議を継続

4. 地方創生人材支援制度によるデジタル専門人材派遣

- 事業費: 2,174 万円
- 派遣先: 広島県福山市・島根県邑南町・沖縄県球磨村

5. 慶應義塾大学大学院 SDM との連携支援事業(事業未実施)

- 7 月に北杜市役所と慶應義塾大学大学院 SDM は包括連携協定を締結
- 熱需要調査・ドローン林業事業は令和 7 年度実施に向け調整中

6. 空き家対策モデル事業(事業未実施)

- 令和 5 年度活動のフォロー・令和 7 年度以降の計画を検討するも実施に至らず

7. タイニーハウスの利用促進

- 個人向けタイニーハウス請負により、地域循環と脱炭素推進
- 令和 4 年設置のオフグリッドタイニーハウスへ入居希望者あり、現在貸出中

8. GX(グリーントランスフォーメーション)コンサルティング事業(事業未実施)

- 地域再エネ活用、EV モビリティ提案、サステナブル観光推進などを目指すも、関係者多忙により具体的実施には至らず